

合格体験記 8

東京学芸大学 教育学部 初等国語 進学

他の主な合格校 : 私大は受けていない

1 志望校決定について

高2の夏。小学校教諭の免許を取れ、かつ国語の専門性を高められる大学だから。

2 学習計画について

(1) 1、2年次の学習について

曜日ごとに、時間割に合わせて、何を勉強するか決めていた。

どんなに忙しくても、授業の復習だけはしていた。

(2) 2年3月から受験本番までの具体的な学習法

2年時3月～部活仮引退までは、授業を軸に、**1日4時間は勉強**すること、授業の無い、数IIBを毎日少しでも触れることを気をつけました。好きで得意な国語と日本史は、定期テストの勉強と復習を、苦手な英語と数学は単語、文法、公式を覚えることなど、基礎に戻って勉強しました。

部活仮引退からは、朝となる前は暗記、昼休みは数学、夕方は演習、というように、時間で何をするか決めて勉強しました。また、12月までは、**平日はセンター試験対策、土日の午前中は記述対策**というように決めていました。

センター試験の勉強法は、覚えるべきことは覚える、学校で買った問題集や過去問を解いて、分からなかった箇所、覚えてなかったことは、ノートにまとめて覚え、何度もとき直して答えを見ずに解けるようにする、そして時間ないに解けるようにする、など誰もが知っている様な方法ですが、他の受験生より**質を高く、量を多く**する様に意識しました。

記述対策は、基本的に、赤本と、東進が無料で載せている過去問を解き、国語の先生に添削していただきました。また、知識問題対策のために、辞書、便覧、文法書は一通り読みました。

(3) 利用した参考書・問題種、その利用法

河合塾古文入試精選問題集8、河合塾漢文入試精選問題集9

国公立大、難関私立大の入試問題が掲載されている。

学芸の問題と似通った問題が多かったので買った。記述対策に良いと思う。

(4) 模試の活用方法

間違えた問題は解説を読み、解き直した。

間違えた問題だけを集めたノートを作って、いつでも見直せる様にした。

また、**正解した問題の解説も読む**様にした。

(5) 予備校の活用方法

予備校は使わなかった。学校の授業と、自主勉強を真面目にすれば、時間がないし、予備校・塾等は必要ないと個人的に思うが、うまく活用できる人なら、使うメリットは十分あるはずなので、人それぞれだと思う。

(6) 部活動・行事・委員会活動・趣味などとの学習の両立

部活動、行事で忙しいとき、ほとんど勉強できませんでした。身体がもう一体あればいいなと思っていました。また、趣味などで一休みするのも大切ですが、私の場合一休みしすぎた時もあったので、自分に甘い人は要注意です。

(7) 後輩へのアドバイス

まず、日々の勉強する時間、場所を固定し、習慣化した方がいいと思います。また、あまり家で勉強しない方がいいと思います。私の場合、家で勉強していた時期、小学生の妹とドラマの再放送を連続して見てしまっていたので、時間を無駄にしていました。ぜひ、反面教師にしてください。

また、最終的な目標は第一志望に合格することですが、これだけだと精神がもたないので、小さい目標を沢山作って、時期を設定し、一つずつ達成して前進していくのがいいと思います。例えば、9月の模試では、英語を8割とる、など。達成すると、モチベーションが上がります。

受験期は長く、辛い時もあるかもしれませんが、絶対ここに受かるんだ！と、執念を持っていれば、何とかできます。頑張ってください。応援しています！

(8) 高校生活全般についての感想・意見・反省

陸上部で、培ったものが大きいと思います。運動神経が悪く、自分に自信がなかったのですが、良いチームメイト、顧問の先生方、OBOGの方に出会い、良い筋肉と、少し自信ができました。

(9) 合格した時の喜び

自分の受験番号を見たとき、信じられませんでした。自分より母や友達が喜んでくれているのを見て、やっと信じられました。ずっと目指していた夢が叶って、幸せです。

合格体験記

東京学芸大学 教育学部 B類 中等教育教員養成課程 理科専攻 進学

他の主な合格校： 文教大学 教育学部 学校理科 一般、明星大学 教育学部 教育学科 理科 一般
武蔵野大学 教育学部 教育学科 理科 セ利用、 帝京科学大学 教育学部 中高理科 一般
東洋大学 理学部 応用化学 セ利用

1 志望校決定について

中学生の頃から教師を目指していた。

学芸大学を第一志望校として意識し始めていたのは高校一年生の時。

2 学習計画について

① 1、2年次の学習について

一年生から学芸大学を意識はしていたものの、基本は部活に励んでいた。定期テストの際は切り替えを瞬時に行って全力で勉強に励んだ。部活が忙しい時は定期テストなどの機会を大切にしておく、勉強に励みやすくなるとわかった。また、部活を最後までやり遂げることによる達成感から受験勉強への切り替えも行いやすかった。

② 2年3月から受験本番までの具体的な学習法

やはりセンター試験を受けてもいない段階で、受からないかもしれないと不安から第一志望校を下げてしまうのは良くないと思った。せめてセンターの結果がでてから計画する方が、モチベーションの低下を防ぐことができると思った。

第一志望校に行きたいという気持ちが受験を乗り越える最大のエネルギーになると思う。

③ 利用した参考書・問題種、その利用法

化学 リードα、重要問題集

生物基礎 セミナー、リードライトノート

* 学校で配られた参考書を使ったほうが良い

④ 模試の活用方法

模試は結果の良し悪しよりも、どの教科が自分の足を引っ張っているのかを分析することが必要だと思う。なんの勉強をしていいかわからないという時期もあったが、模試をよく見てみると課題が見つかり放題で勉強計画も立てやすい。不安に駆られた衝動で勉強に取り組むよりかは、まず模試をみて教科ごとの勉強計画を立てていくことが良い結果に繋がると思う

⑤ 予備校の活用方法

2年の3月から河合塾マナビスに通うようにした。ただ、全ての教科で指導は受けず、苦手だったもの

やもっと伸ばしたいもののみを受講するようにした。

⑥ 部活動・行事・委員会活動・趣味などとの学習の両立

武蔵野北の1、2年生は受験が間近でなくてもいずれ来る入試のことを考えて勉強することができると思う。しかし、わたしは1年生の時は受験を理由にした勉強をしようとは思えなかったので、勉強する理由がはっきりしていた定期テストはしっかり取り組むようにしていた。一年生にとって受験はかなり後(と言ってもすぐ来るとは思うが)だから身が入らないこともわかるが、**定期テストや普段の小テスト**は直近であり、目標も立てやすいと思うのでそこからでいいから勉強に取り組んでほしい。

⑦ 後輩へのアドバイス

諦めない気持ちと支え合える人間関係を作ってください。

⑧ 高校生活全般についての感想・意見・反省

部活に入ること**人間関係**や**負けない気持ち**が築けたと思う。部活だけでなく、クラス行事も積極的に行ったので、クラス内でもたくさん友達ができ**みんなで勉強も頑張れた**。学校の先生ともたくさんお話しした。全てにおいてとても充実した日々を送れたと思う。

学芸大学に受かり嬉しい気持ちはあるものの、今はムサキタを離れたくないという気持ちの方が強い。それくらいの学校生活を後輩にも送ってほしいと思う。

⑨ 合格した時の喜び

本格的な受験勉強を始めたのは部活を引退してからでした。7月の模試では、満点のうち半分ほどしか取れなくて、私の中での学芸大学合格へのストーリーはただの作り話のようにも思われたほどでした。この状態で、モチベーションを維持し続けることは正直辛かったです。絶対受からないと思いました。

しかし、わたしと同じ境遇にあった友達は私とは大違いでした。死にものぐるいで勉強していました。友達に負けたくないと思ったら急にやる気が出ました。**受験は団体戦**とも言いますが、私は**仲間を競争相手**と捉えました。センターの結果は7月から100点以上伸びましたが、学芸のボーダーには届かず、またも挫折しそうになりました。しかし、私の得意な理科なら通用するのではないかと思って勉強を進めたところ合格することができました。受験勉強を通して、ちょっとした**可能性を信じて突き進む**ことができるようになったのが最大の収穫だと思っています。

協力してくださった先生方や両親、クラスメイトには本当に感謝しています。

三年間ありがとうございました。

合格体験記

東京学芸大学 教育学部 E類多文化共生教育コース 進学

他の主な合格校：立教大学 文学部史学科(一般)、学習院大学 文学部史学科(一般)

東京女子大学 現代教養学部 歴史文化専攻 (センター利用/一般)

日本女子大学 文学部史学科 (センター利用/一般)

1 志望校決定について

社会科の教職が取りたいと高1から思っていたので、高2・高3で学園祭や説明会に行き決めた。

専攻は迷ったので最終的にはセンター試験の結果で決めました。

2 学習計画について

① 1、2年次の学習について

吹奏楽部の加盟する連盟で委員をやっていたので、資料作りや他校との連絡などを部活外の時間にやる必要があって平日は多く時間を取られていた。2年生のときは時間が無くても毎日の小テストだけは満点を目指すようにして、なかなか覚えられない単語とか気になった説明書きにマーカーを引くようにした。3年で見直すと忘れていたものも多いけど、小テストで1問だけ間違えたものはずっと覚えていたり、マーカーを見て引いた時のことを思い出すと覚えやすかったり、未習の範囲とは覚えられまでの速さが全然違いました!!

② 2年3月から受験本番までの具体的な学習法

英語は6月の英検の1週間前に毎日1回分過去問をやったら次の模試から点数が伸びました。この時期1日に何個も長文を読んだりリスニング対策をしたりする機会は少ないから、早めに色々な分野の長文とリスニングに慣れられて良かった。

数学は嫌いだったので毎日決めた量の数学を学校でやるまで他の教科をやったり家に帰ったりしないようにしました(笑)

理数は苦手だったし3年で授業を取らなかったから、センター直前になっても過去問と並行して問題集の例題を解いて、知らなかったり忘れていたりする解き方がないようにしました。

社会(日本史・地理)はテスト範囲が広くてテスト前にほかの教科より時間を使うし、夏休み冬休みの講習も多かったので、テスト期間にノートにあることは全て覚えるつもりでやって、他の日はなるべくほかの教科に時間を使うようにしました。

2次試験は小論文だったのでセンター試験後に学校の先生に見て頂きました。

③ 利用した参考書・問題種、その利用法

緑チャート センター数学IA・IIB(数研出版)

実力をつける日本史100題(Z会)

↑長い問題文の穴埋めとか下線部を答えさせる私大(立教とか)向き!!

④ 模試の活用方法

センターの配点が大きかったのでマーク模試重視で、マーク模試の日の夜は自己採点をしたら、次のマーク模試までの予定を立てていました。

⑤ 予備校の活用方法

中3で塾に通わなかったから高校でも通おうと思いませんでした。

学校で勉強した1年間でムサキタ生の知らない人が減って友達が増えた気がします(笑)

それがモチベーションに繋がるのかも…

⑥ 部活動・行事・委員会活動・趣味などとの学習の両立

文化祭は裏方だったので役の人より取られる時間は少なかった。私はダンスが苦手な裏方の方がやりたかったから希望しただけなので、その時間で人と勉強の差をつけようと思わなかったし差がついたとも思ってません。あまりに裏方だけ行かなくていい日が続くと謎の罪悪感に駆られるし、勉強の都合は考えないでやりたい役職をやって差は出ないと思います。

⑦ 後輩へのアドバイス

私は2年生まで模試とか定期テストで英語の成績があまりよくなかったけれど、早めに苦手科目でなくすることができたので、冬とか直前の時間を苦手な計算慣れも必要な理系に多く使うことができました。英語は苦手な人も多いし早めに得意教科にすると有利だと思います!!

文化祭は裏方だったので役の人より取られる時間は少なかった。私はダンスが苦手な裏方の方がやりたかったから希望しただけなので、その時間で人と勉強の差をつけようと思わなかったし差がついたとも思ってません。あまりに裏方だけ行かなくていい日が続くと謎の罪悪感に駆られるし、勉強の都合は考えないでやりたい役職をやって差は出ないと思います。

合格体験記

東京学芸大学 教育学部 B類 中等教育教員養成課程 理科専攻 進学

他の主な合格校： 中央大学 文学部

1 志望校決定について

教員を目指していたので中学からなんとなく学芸を目指していました。

ちゃんと決めたのは高2ぐらい教員を目指す上で最適な環境だから選びました

2 学習計画について

① 1、2年次の学習について

定期テストとか小テストをしっかりとやったぐらいです。ガッツリ受験勉強とかは特にしてない。

② 2年3月から受験本番までの具体的な学習法

1学期は単語とか文法とか基礎をやった。

夏休みに理系科目をやって、11月ぐらいまではほぼ数学をやりながら、センターの勉強。

11月は記述をやった。

12月からセンターまではずっと過去問。

センター終わったら志望校の過去問をやった。

授業でセンター対策はやってくれるから授業を取ってない教科を家で集中的にやった。

③ 利用した参考書・問題種、その利用法

基本的には学校でもらえる問題集 教科書 ノート 単語帳、

数学は緑チャートを買って、ある程度力をつけたら、秋からは過去問とか予想問題集を繰り返しやった

④ 模試の活用方法

模試を基準に勉強計画を立てた

次の模試までにここまでできるようにして、みたいな感じで、模試を基準に段階的に勉強して、最後の模試までに全ての勉強を終えて、最後の模試は本番のつもりでやった。

模試は勉強というより**そこまでやったことの確認**みたいに使った。

⑤ 予備校の活用方法

予備校は使っていない

学校の授業で理解するようにして家では復習とか問題解いて確認をする

学校の授業でわからない所は友達にきいたりした

⑥ 部活動・行事・委員会活動・趣味などとの学習の両立

行事期間は勉強より全力でやった

行事をやりきることでしっかり切り替えができた

趣味も完全に禁止はしないで、時間あるときに息抜きでゆったりして精神安定剤にした

⑦ 後輩へのアドバイス

張り詰めすぎるより、クラスの友達とかと話して、気持ちを共有していると、そこまできつくないので、たくさん話して、たまにはご飯行ったりしてください

⑧ 高校生活全般についての感想・意見・反省

受験期も学校で友達とたくさん話してたりしたので、そこまで辛くなく最高に楽しい高校生活でした

⑨ 合格した時の喜び

合格したときは嬉しかったし、やっと終わった感じがして気持ちが楽になった